

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループ第95期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、中期事業計画「R2」で柱に掲げた「主力ビジネスの利益ある成長の加速」「新規ビジネスの始動と開拓に向けた取り組み」の達成に向け、技術VEによるコスト削減や徹底的な経費削減を推し進めることで外部環境の悪化などの不測の事態に対応できるレジリエンスを強化するとともに、新規ビジネスの獲得およびさらなる深耕開拓を行ない、拡販活動に注力いたしました。また、製品面においてはニッケル水素電池にて、本年9月に国内生産による高品質という強みを生かした電池の生産を1991年10月から続け、累計生産数50億個を達成いたしました。さらに電子事業につきましては、これまでの電子部品製造の豊富な経験を活かし、「Bluetooth® Low Energyモジュール」の量産体制を構築し、国内顧客向けのサンプル出荷を開始いたしました。

当中間期の経営成績につきましては、売上高はリチウム電池のセキュリティ・スマートメータ用途向けの増加や設備関連ビジネスでの増加があったものの、ニッケル水素電池の国内市販用途向けおよび海外工業用途向けの売上減、電子事業の各種モジュールの売上減などにより前年同期に比べ14億87百万円減の302億46百万円となりました。営業利益は販売価格の見直しと経費削減を上回るニッケル水素電池の売上減や原材料価格の高騰、電子事業の売上減の影響により前年同期に比べ7億47百万円減の76百万円の損失となりました。経常利益は1億95百万円の為替差益を営業外収益として計上したものの、前年同期に比べ7億3百万円減少の1億36百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は減損損失の計上や法人税等の計上により、35百万円の損失（前年同期は5億83百万円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりましたが、いずれも期初の想定より良化しました。

中間配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが見送らせていただきますと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

下期以降につきましても、事業環境は依然として不透明な状況で推移することが想定されますが、上期に引き続き材料調達や原材料価格の変動などの外部環境の変化に対応できる経営基盤をさらに強化するとともに、高付加価値・環境負荷が低い製品開発の強化、新製品および新市場の開拓、全社DXプロジェクトの推進による生産効率UPやコスト競争力のさらなる改善を実行してまいります。加えて次世代電池の開発およびビジネスプランの策定をさらに加速させるとともに、ニッケル亜鉛電池については今後、設備の増強を進め、お客様へのサンプル出荷を拡大するとともに、引き続き実機による耐久性確認を進めてまいります。また、もう一つの柱である「認め合い・高め合う文化の醸成」に努めることで企業文化・風土の変革に繋げ、経営品質の向上に努めてまいります。そして「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、全てのステークホルダーに満足いただく「And Game」の実現のため、企業価値を向上させてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。

※Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です。



代表取締役社長
長野 良

Profile プロフィール

1961年 9月 7日生まれ
1985年 4月 富士通(株)入社
2019年 4月 当社執行役員常務
2019年 6月 当社代表取締役社長

2023年12月

連結決算ハイライト

売上高



営業利益
又は営業損失(△)



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は
親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)

